

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 ローランド株式会社

コード番号 7944 URL <http://www.roland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 純一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 田村 尚之

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 053-523-3652

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	18,725	4.0	945	—	1,006	—	226	544.5
25年3月期第1四半期	17,997	△0.9	△134	—	△235	—	35	△95.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,444百万円 (46.1%) 25年3月期第1四半期 1,673百万円 (△18.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.53	—
25年3月期第1四半期	1.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	78,118	59,563	55.5	1,823.28
25年3月期	77,341	57,749	54.1	1,760.66

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 43,368百万円 25年3月期 41,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	5.00	12.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,200	8.1	1,400	588.7	1,300	—	△200	—	△8.41
通期	81,200	12.3	3,500	—	3,100	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	23,835,796 株	25年3月期	23,835,796 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	50,000 株	25年3月期	50,000 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	23,785,796 株	25年3月期1Q	23,787,106 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は平成25年8月7日(水)に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結経営成績

(単位：百万円)

	平成 25 年 3 月期 第 1 四半期	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期	増減額	増減率
売 上 高	17,997	18,725	+727	+4.0%
電子楽器事業	10,158	9,853	△304	△3.0%
コンピュータ周辺機器事業	7,838	8,871	+1,032	+13.2%
営業利益又は営業損失(△)	△134	945	+1,079	—
電子楽器事業	△159	89	+249	—
コンピュータ周辺機器事業	25	856	+830	+3,253.5%
経常利益又は経常損失(△)	△235	1,006	+1,241	—
四 半 期 純 利 益	35	226	+191	+544.5%

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	平成 25 年 3 月期 第 1 四半期	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期	増減額	増減率
電 子 楽 器	3,559	3,725	+165	+4.7%
ギター関連電子楽器	2,062	1,891	△171	△8.3%
家庭用電子楽器	2,820	2,440	△379	△13.5%
映像・音響及び コンピュータ・ミュージック機器	1,161	1,227	+65	+5.6%
そ の 他	554	569	+14	+2.7%
電子楽器事業	10,158	9,853	△304	△3.0%
コンピュータ周辺機器事業	7,838	8,871	+1,032	+13.2%
合 計	17,997	18,725	+727	+4.0%

販売地域別売上高

(単位：百万円)

	平成 25 年 3 月期 第 1 四半期	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期	増減額	増減率
日 本	2,377	2,098	△279	△11.7%
北 米	2,794	2,813	+18	+0.7%
欧 州	3,226	3,029	△197	△6.1%
そ の 他	1,759	1,912	+153	+8.7%
電子楽器事業	10,158	9,853	△304	△3.0%
日 本	918	977	+58	+6.4%
北 米	1,966	2,515	+549	+27.9%
欧 州	2,664	3,092	+427	+16.1%
そ の 他	2,288	2,285	△3	△0.1%
コンピュータ周辺機器事業	7,838	8,871	+1,032	+13.2%
合 計	17,997	18,725	+727	+4.0%

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、国内では、円安による輸出回復等を受け、景気持ち直しの傾向が見受けられました。海外では、米国はゆるやかな景気回復基調にありましたが、欧州は財政問題の長期化により景気低迷が続きました。また、新興国は、中国を中心に成長率の鈍化傾向が見受けられました。

このような状況の中、電子楽器事業では、主力品目である電子ドラムが前年同期並みでしたが、ギター用エフェクターや電子ピアノが、市場の競争激化により、前年同期を大幅に下回りました。

地域別では、主要市場である日本、北米、欧州において販売が低迷し、特に家庭用電子楽器やギター関連電子楽器の不振により、実質的に大幅な販売減となりました。その他地域では、中南米が販売減となりましたが、豪州が販売増となったことに加え、アジアでは、中国が前期の在庫調整の反動で大幅に販売増となりました。

収益面では前期に実施した構造改革を引き続き推進しました。当初予定していた海外への生産シフトは、急速な円安影響により、個別採算に応じて生産地を検討しました。また、集約した国内工場の体制整備や開発プロセスの見直し等も実施しました。

結果、売上高は円安効果があったものの、98億53百万円（前年同期比3.0%減）となりました。利益面では、事業構造改革による人件費削減の効果が大きく、89百万円の営業利益（前年同期は1億59百万円の営業損失）となりました。

コンピュータ周辺機器事業では、主力品目であるプリンターやサプライにおいて、前期に投入した大型インクジェットプリンターの新製品が好調な立ち上がりを見せたことにより、前年同期を上回りました。また、工作機器も、デンタル加工機DWXシリーズが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

地域別では、北米や日本において、プリンターの新製品やデンタル加工機を中心に販売が好調で、前年同期を上回りました。欧州では、厳しい景気低迷の影響を受け販売が伸び悩んだものの、円安効果等もあり、前年同期を上回る結果となりました。その他地域では、韓国やASEAN地域において、販売体制の見直しを実施したこと等の影響により、前年同期を大幅に下回りましたが、中南米が好調に推移したことに加え、中国で、ニーズの高い水性インクに対応した大型インクジェットプリンター等の販売が好調だったことにより、円安の影響を含め前年同期並となりました。

結果、売上高は円安効果もあり、88億71百万円（前年同期比13.2%増）となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費は増加したものの、原価率が大幅に改善した結果、8億56百万円（前年同期は25百万円の営業利益）となりました。

以上の結果、全体の売上高は187億25百万円（前年同期比4.0%増）、9億45百万円の営業利益（前年同期は1億34百万円の営業損失）、10億6百万円の経常利益（前年同期は2億35百万円の経常損失）となりました。また、最終損益は、税費用や少数株主への利益振替等により、2億26百万円の四半期純利益（前年同期は35百万円の四半期純利益）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における平均為替レート（※）は、92円/米ドル（前年同期79円）、122円/ユーロ（前年同期104円）でした。

（※）海外連結子会社の事業年度は1月～12月のため、平成25年1月～平成25年3月の平均レートとなります。

セグメント毎の販売状況は、次の通りです。

【電子楽器事業】

[電子楽器]

シンセサイザーは、エントリー市場における競争激化により、北米や中南米を中心に前年同期を大幅に下回りました。楽器用アンプは、日本、アジアで販売が増加したものの、北米、欧州で減少となりました。電子ドラムは、前期初めに発売した新製品が引き続き堅調に推移したことに加え、折りたたんで持ち運べる新製品が好評となり、前年同期並みとなりました。結果、実質的には販売減となりましたが円安効果もあり、電子楽器の売上高は37億25百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

[ギター関連電子楽器]

ギター用エフェクターは、独自の新技术による新しい表現を可能にした新製品が貢献したものの、日本、北米、欧州の主力市場で、市場競争の激化により既存製品の販売が減少し、前年同期を大幅に下回りました。ギター・シンセサイザーは、新製品が好調に推移した前年同期に比べ、日本と欧州において大幅な減少となりました。結果、ギター関連電子楽器の売上高は18億91百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

[家庭用電子楽器]

電子ピアノは、前期下半期に投入した新製品の貢献により、多機能タイプの製品の販売は堅調であったものの、単機能タイプの製品は、市場競争の激化に加え、前年同期に新製品を投入した反動や在庫適正化に向けた供給調整の影響もあり、欧州や日本を中心に前年同期を大幅に下回りました。電子オルガンは前年同期並みで推移したものの、自動伴奏機能付きキーボードは減少しました。結果、家庭用電子楽器の売上高は24億40百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

[映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器]

映像機器は、ビデオ・スイッチャーの新製品が貢献し、欧州で前年同期を上回ったものの、ビデオ編集機やライブ動画配信用AVミキサーが減少し、全体で前年同期を下回りました。音響機器は、iPadに対応したミキサーの新製品が貢献したこともあり微増となりました。コンピュータ・ミュージック機器は、周辺機器の新製品が貢献しましたが、音楽制作ソフトウェアが前年同期を大幅に下回りました。結果、実質的には販売減となりましたが円安効果もあり、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器の売上高は12億27百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

[その他]

日本において、通信カラオケ機器用音源が好調に推移した結果、その他の売上高は5億69百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

以上の結果、電子楽器事業の売上高は、98億53百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

【コンピュータ周辺機器事業】

プリンターは、前期に投入した大型インクジェットプリンターの新製品が、付加価値の高い表現力で高い評価を獲得し、既存顧客の買い替え需要を喚起する等、好調なスタートを切り、日本や北米を中心に販売を力強く牽引しました。

工作機器では、ものづくり分野に向けた、主力の切削加工機が堅調に推移しました。また、デンタル加工機は、義歯の製作プロセスをトータルソリューションとして提案できる体制作りや、販売網の開拓・整備が着実に進んだことが奏功し、北米や欧州のほか、中国や日本においても販売が拡大しました。

サプライ品は、プリンターの販売が好調だった北米や北欧、日本等を中心にインクの販売が増加しました。

以上の結果、コンピュータ周辺機器事業の売上高は、88億71百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末と比較して7億77百万円増加し、781億18百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が1億70百万円、受取手形及び売掛金が3億88百万円それぞれ減少した一方、商品及び製品が6億44百万円増加し、また在外関係会社の前会計年度末である平成24年12月末から第1四半期会計期間末である平成25年3月末にかけての主要国通貨に対する円安進行を受けた、在外関係会社の財務諸表の円換算額が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して10億37百万円減少し、185億54百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が1億50百万円、賞与の支払いにより賞与引当金が4億62百万円、未払金等を含むその他流動負債が7億36百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して18億14百万円増加し、595億63百万円となりました。その主な要因は、上述の円安進行により為替換算調整勘定が12億74百万円増加し、また四半期純利益が2億26百万円あった一方、剰余金の配当が1億18百万円あったことによるものです。

自己資本比率は、主に上述の総資産、純資産それぞれの増加を受け、前連結会計年度末と比較して1.4ポイント増加し、55.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績については、平成25年5月8日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,450,652	17,280,322
受取手形及び売掛金	10,246,794	9,857,834
商品及び製品	16,271,365	16,916,205
仕掛品	329,303	333,825
原材料及び貯蔵品	4,282,421	4,121,312
その他	3,524,560	4,035,540
貸倒引当金	△351,537	△384,073
流動資産合計	51,753,561	52,160,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,284,444	21,710,156
機械装置及び運搬具	3,136,187	3,266,527
工具、器具及び備品	11,187,949	11,433,837
土地	8,147,553	8,254,286
建設仮勘定	128,324	99,478
減価償却累計額	△25,919,745	△26,586,784
有形固定資産合計	17,964,712	18,177,501
無形固定資産		
のれん	843,326	844,700
ソフトウェア	831,965	866,038
ソフトウェア仮勘定	163,462	161,030
その他	151,537	147,454
無形固定資産合計	1,990,292	2,019,224
投資その他の資産		
投資有価証券	1,908,565	2,070,929
その他	3,887,672	3,868,459
貸倒引当金	△163,800	△179,076
投資その他の資産合計	5,632,437	5,760,312
固定資産合計	25,587,442	25,957,038
資産合計	77,341,003	78,118,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,660,144	2,640,722
短期借入金	4,316,106	4,165,829
1年内返済予定の長期借入金	403,648	403,879
未払法人税等	304,311	323,926
賞与引当金	1,068,482	606,168
役員賞与引当金	—	25,000
製品保証引当金	397,768	413,310
その他	5,747,281	5,010,487
流動負債合計	14,897,744	13,589,322
固定負債		
長期借入金	603,207	602,374
繰延税金負債	568,563	645,059
再評価に係る繰延税金負債	164,155	164,155
退職給付引当金	809,152	826,807
その他	2,548,920	2,726,290
固定負債合計	4,693,999	4,964,687
負債合計	19,591,744	18,554,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,274,272	9,274,272
資本剰余金	10,800,378	10,800,378
利益剰余金	27,569,796	27,677,464
自己株式	△50,141	△50,141
株主資本合計	47,594,306	47,701,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225,620	333,092
土地再評価差額金	△1,453,231	△1,453,231
為替換算調整勘定	△4,487,969	△3,213,750
その他の包括利益累計額合計	△5,715,579	△4,333,889
少数株主持分	15,870,532	16,195,911
純資産合計	57,749,259	59,563,996
負債純資産合計	77,341,003	78,118,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	17,997,275	18,725,040
売上原価	10,871,337	10,238,277
売上総利益	7,125,938	8,486,762
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	717,138	651,158
貸倒引当金繰入額	51,938	17,541
給料及び賞与	3,386,957	3,509,971
賞与引当金繰入額	294,023	282,476
役員賞与引当金繰入額	10,000	25,000
製品保証引当金繰入額	45,680	54,804
その他	2,754,260	3,000,088
販売費及び一般管理費合計	7,259,998	7,541,041
営業利益又は営業損失(△)	△134,059	945,721
営業外収益		
受取利息	22,834	20,135
受取配当金	32,577	36,836
為替差益	—	93,249
その他	81,417	83,132
営業外収益合計	136,829	233,354
営業外費用		
支払利息	18,942	23,205
売上割引	133,753	130,860
為替差損	68,714	—
その他	16,568	18,532
営業外費用合計	237,980	172,598
経常利益又は経常損失(△)	△235,210	1,006,476
特別利益		
固定資産売却益	4,824	11,192
特別利益合計	4,824	11,192
特別損失		
固定資産除売却損	6,626	6,808
特別損失合計	6,626	6,808
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△237,012	1,010,860
法人税、住民税及び事業税	147,317	361,248
法人税等調整額	△352,800	54,939
法人税等合計	△205,482	416,188
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△31,529	594,671
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△66,685	368,075
四半期純利益	35,156	226,596

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△31,529	594,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101,968	106,799
為替換算調整勘定	1,807,056	1,743,303
その他の包括利益合計	1,705,087	1,850,102
四半期包括利益	1,673,558	2,444,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,285,348	1,608,286
少数株主に係る四半期包括利益	388,210	836,487

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	10,158	7,838	17,997
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,158	7,838	17,997
セグメント利益又は損失 (△)	△159	25	△134

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	9,853	8,871	18,725
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,853	8,871	18,725
セグメント利益	89	856	945

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。